

シティズンシップ教育と土木

唐木清志

(筑波大学大学院人間総合科学研究科)

「シティズンシップ」とは

- 「シティズンシップ (citizenship)」の二つの意味
 1. 市民権 (市民としての身分)
 2. 市民性 (市民に必要な資質・能力)
- シティズンシップ教育の目標
 - 市民に必要な資質・能力を育成すること
 - 1万円を寄付する1人の人間ではなく、1円を寄付する100人の人間を育てること

シティズンシップ教育の能力観

- 四つの能力（指導要録「観点別評価」より）
 1. 関心・意欲・態度
 2. 思考・判断
 3. 技能・表現
 4. 知識・理解
- バランスの取れたシティズンシップの育成

「土木」という言葉の一般的イメージ

- 「土木」という言葉の一般的イメージ
 - 「道路・鉄道・河川・橋梁・港湾などを, 土石・木材・鉄材などを利用して建設すること」
- 土木技術者教育
 - 土木関係者を対象とした教育
 - 土木教育

「土木」という言葉の新たなイメージ

- 「土木」という言葉の新たなイメージ
 - 「市民の文明的な暮らしのために、人間らしい環境を整えていく仕事」(『土木という言葉について』)
 - Civil Engineering (市民工学, 社会基盤学…)
- シティズンシップ教育
 - 一般市民・子どもを対象とした教育
 - 土木学習

学校教育に土木学習を導入するために

- 目標・内容・方法の三観点
 1. 教育目標:どのような子どもを育てるか
 2. 教育内容:どのような内容を学ばせるか
 3. 教育方法:どのような方法で学ばせるか
- 授業設計の手順
 - 教育目標→教育内容→教育方法

土木学習の目標

- 土木学習の目標
 - シティズンシップの育成
- 教科・領域の目標との関連性
 - 社会: 公民的資質
 - 理科: 科学的な見方や考え方
 - 総合的な学習の時間: 生きる力

土木学習の内容(1)

- 学習指導要領・教科書から可能性を探る

(小学校の場合)

	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	道徳	外国語	総合	特活
1年													
2年													
3年		町の様子 建造物											
4年		廃棄物 地域発展											
5年		森林資源 自然災害											
6年		地方自治 (政治)											

土木学習の内容(2)

- 「土木」からイメージするもの
 - 道, 川, 街, 緑...
- 地域社会の課題
 - 交通渋滞, 違法駐輪, 自然災害...
 - 総合的な学習の時間
 - 特別活動
 - 学級活動, 児童会活動, クラブ活動, 学校行事

土木学習の方法(1)

- 単元開発
 - 単元:子どもの経験の一つのまとめ
 - 子どもの追究が連続する授業
- 「習得」「活用」「探究」という一連の学習過程
 1. 習得:災害が引き起こされるメカニズム
 2. 活用:ハザードマップの作成
 3. 探究:災害の自然的・社会的要因の分析

土木学習の方法(2)

- 作業的, 体験的な学習
 - 実験, 地域調査, ゲストの講話, 視聴覚教材...
- 議論
 - 論争問題, 社会的ジレンマ, ディベート...
- プロジェクト学習
 - 「課題発見」「課題分析」「意思決定」「提案・参加」

学校側が求めていること

- 教育改革のキーワードで語ること
 - 社会参画, 持続可能な社会…
- 学校側が求めていること
 - 土木の専門家の協力
 - 教材・教具の開発と提供
 - 実践事例の紹介